

13. 雇用政策

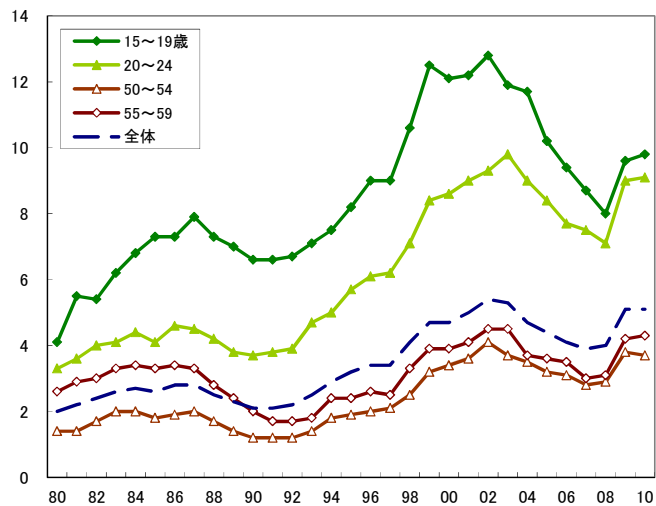
経済政策
(2013年度秋学期)

キーワード

- 若年雇用問題
 - ニート、フリーター
 - 頻繁な離職・転職(3年で辞める若者)
 - パラサイト・シングル
- 日本型雇用システムの変容
 - 終身雇用 ⇒ リストラの一般化
 - 年功序列型賃金 ⇒ 成果主義・能力給
- 雇用のミスマッチ
 - 構造的失業と循環的失業
 - 雇用維持政策から雇用流動化政策へ
 - 積極的労働政策
- 正規・非正規雇用問題
 - 派遣切りと派遣労働規制
- 女性の就業をめぐる問題
 - M字カーブ

若年失業vs中高年リストラ

年齢別完全失業率(%)



(備考)総務省「労働力調査」より作成

3

若年失業増加の背景

- フリーターやニートの増加、頻繁な離職・転職



- 若年層の意識変化＝甘え？

- パラサイト・シングル論

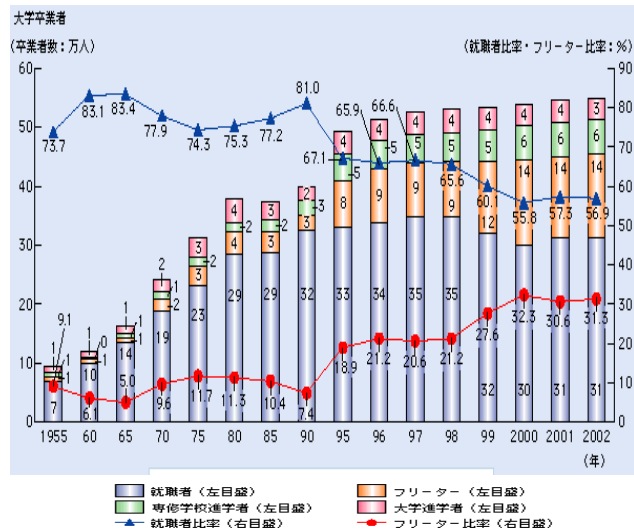
- 不況 & 中高年雇用維持のしわ寄せ？

- 新規採用の抑制

⇒採用されない／採用されても後輩が入らない→雑用期間の長期化、長時間労働、仕事のやりがいの低下

4

フリーターの増加

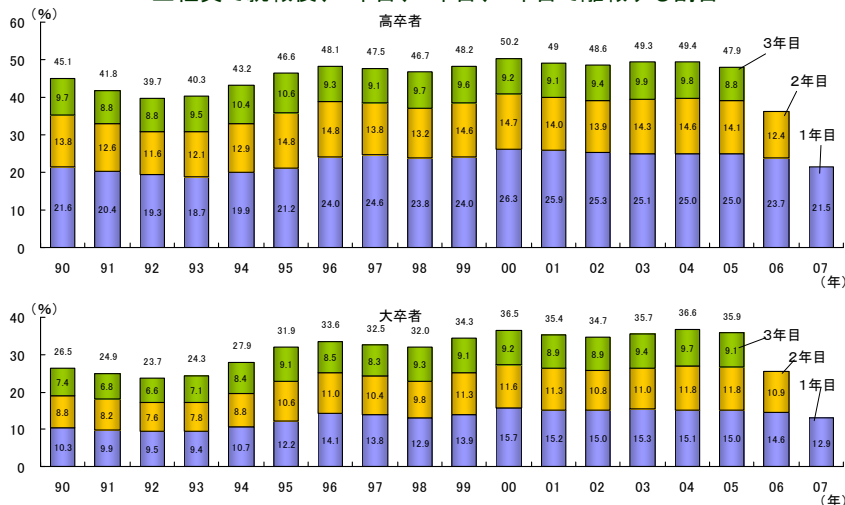


(出所)内閣府『国民生活白書』平成15年版

5

頻繁な離職・転職

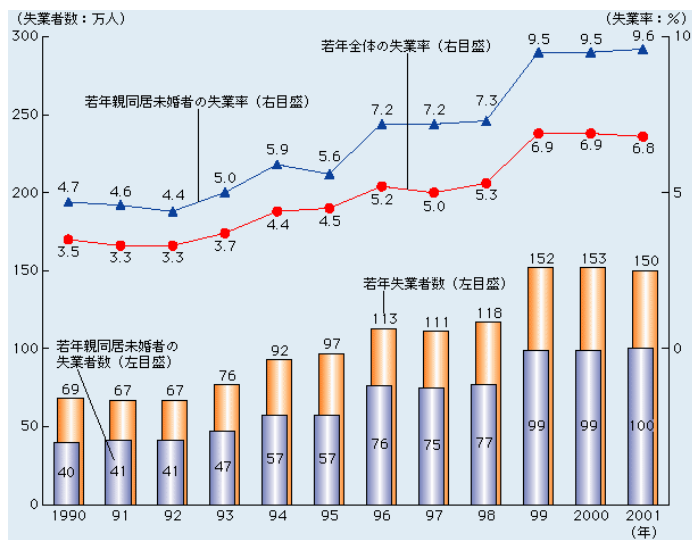
正社員で就職後、1年目、2年目、3年目で離職する割合



(資料)『青少年白書』平成21年版

6

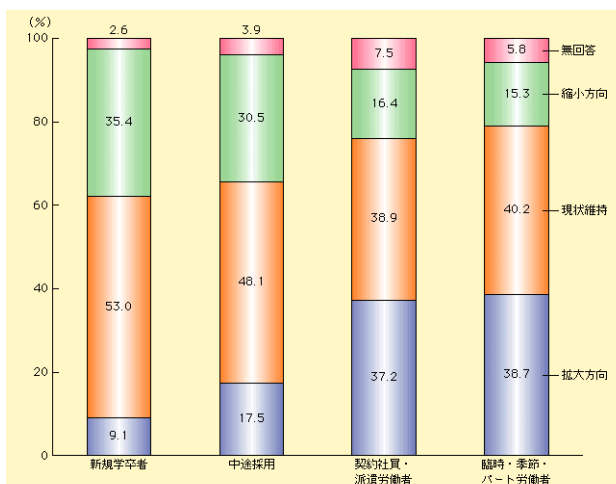
パラサイト・シングルの失業率



(出所)内閣府『国民生活白書』平成15年版

7

新卒求人への抑制



(備考) 1. 日本労働研究機構「事業再構築と雇用に関する調査(企業調査)」(2002年)による。
 2. 「貴社における雇用戦略について伺います。貴社の戦略にあてはまるものを全て選んでください」という問に対する回答者の割合。
 3. 対象は、従業員数300人以上の企業1,683社。

(出所)内閣府『国民生活白書』平成15年版

8

労働時間の長期化

(万人)

週当たり就業時間	雇用者		
		正社員	パート・アルバイト
全体	+41	▲129	+170
30時間未満	+78	▲1	+80
30～40時間	▲12	▲40	+28
40～50時間	▲82	▲127	+45
50～60時間	▲0	▲9	+9
60時間以上	+56	+49	+7

(備考) 1. 総務省「労働力調査特別調査」により作成。
 2. 1995年から2001年の週当たり就業時間別雇用者数の変化。
 3. 「正社員」とは、常用雇用の正規の職員・従業員の人数。
 4. 「パート・アルバイト」とは、雇用者から「正社員」を除いた人。
 5. 対象は、15～34歳の人。

(出所) 内閣府『国民生活白書』平成15年版

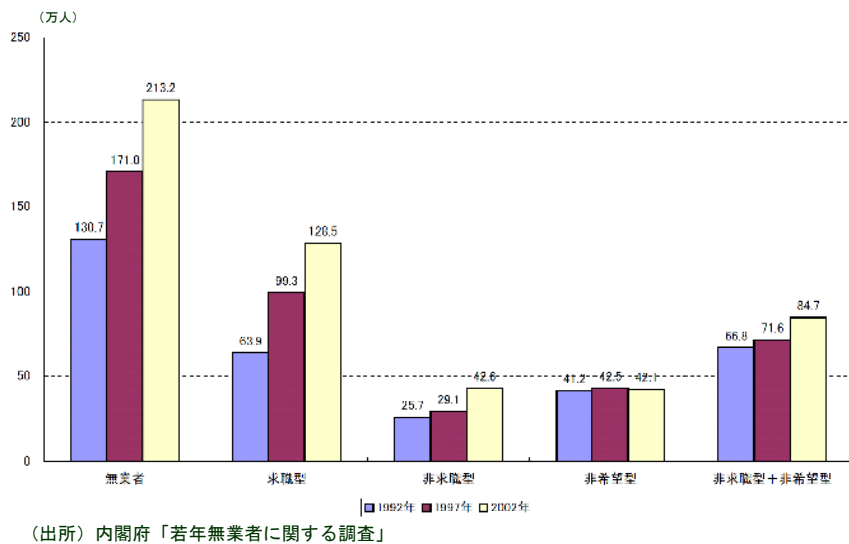
9

ニートの問題

- ニート
 - ・・・教育も雇用も職業訓練もしない若者
- NEET: Not in Education, Employment, or Training
- 日本のニート数: 2002年で約85万人(内閣府推計)

10

若年無業者の推移



11

政府の若年雇用対策

■ 若年自立・挑戦プラン(2003年6月)

- インターンシップ等の職業体験の推進
- 日本版デュアルシステム
- トライアル雇用
- 若者の創業支援
- ジョブ・カフェ 等

(参考) 中学生の職業体験

- 兵庫県「トライやる・ウィーク」
- 富山県「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」

12

日本型雇用システムとその変容

- 雇用

⇒ リストラの一般化、転職の増加
⇒ 産業構造の変化への対応の必要性

- 型賃金

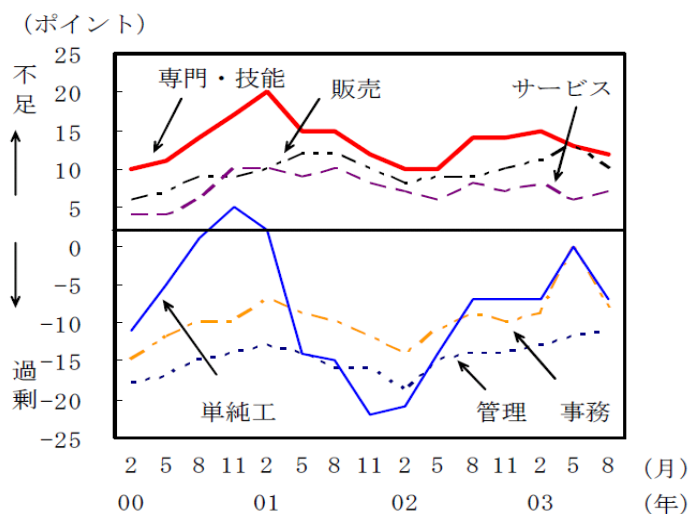
ピラミッド型年齢構成の変化
高度成長(企業規模拡大)の終焉
⇒ 成果主義・能力給の導入

- 労働組合

「雇用維持」型
政策に限界
↓
雇用流動化・
ミスマッチ解消策へ

13

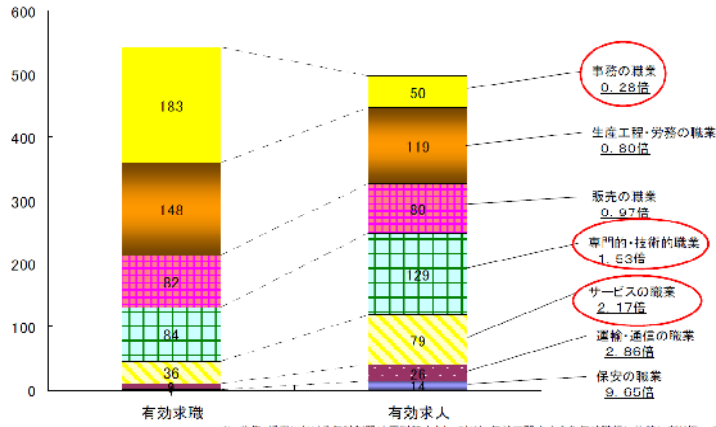
雇用のミスマッチ



14

雇用のミスマッチ

(千人) 29歳以下の求人・求職状況(平成20年度平均)

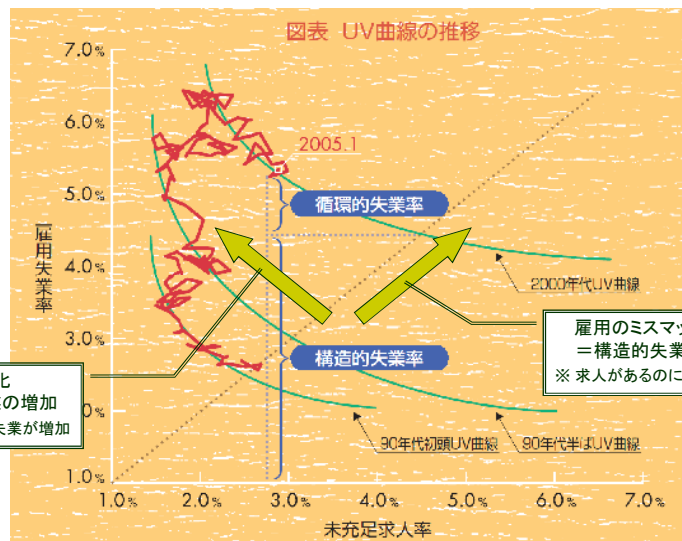


※ 専業・採用における年齢制限は原則禁止されており、年齢不同求人をも年齢階級に均等に振り分けて集計している。
 このため、有効求人倍率の業別構成比は全年齢とほぼ一致する。
 ※ この他、若干の分類不協の懸念がある。

(出所)内閣府「緊急雇用対策の概要」

(資料出所) 厚生労働省職業安定局「職業安定業務統計」

UV曲線と雇用のミスマッチ



景気悪化
 = 循環的失業の増加
 ※ 求人が減少し失業が増加

雇用のミスマッチ拡大
 = 構造的失業の増加
 ※ 求人があるのに失業が増加

(出所) 酒井博司「急増したミスマッチ失業」『三菱研究倶楽部』2005.5, 三菱総合研究所

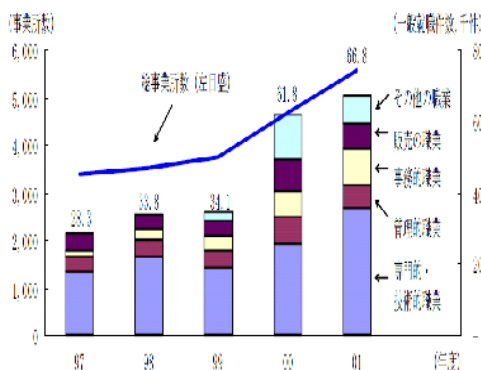
ミスマッチ解消のための政策

- 職業訓練・能力開発支援
- 職業紹介事業の規制緩和・民間参入
- 派遣労働の規制緩和
 - 対象業種の拡大・自由化等
- 雇用維持政策から雇用流動化政策へ
 - アベノミクス成長戦略：雇用調整助成金の減額、労働移動支援助成金の創設
- 解雇ルールの明確化
 - 2003年 労働基準法改正
 - 2008年 労働契約法施行
 - アベノミクス成長戦略：解雇規制緩和は見送り

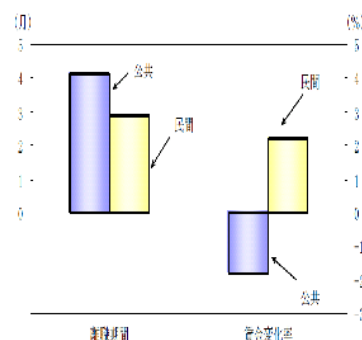
17

職業紹介への民間参入

民間職業紹介業の活動増加



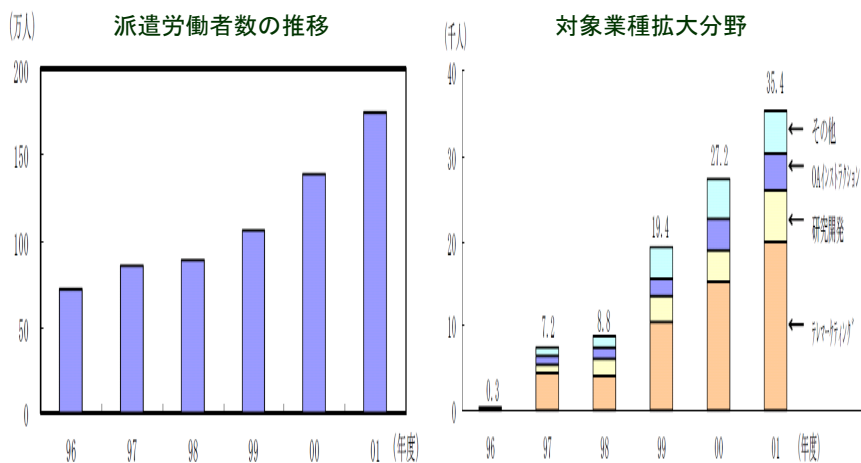
民間職業紹介のパフォーマンス



(出所) 内閣府『構造改革評価報告書—企業・雇用への改革効果の検証と「次の一手」

18

派遣労働者数の増加

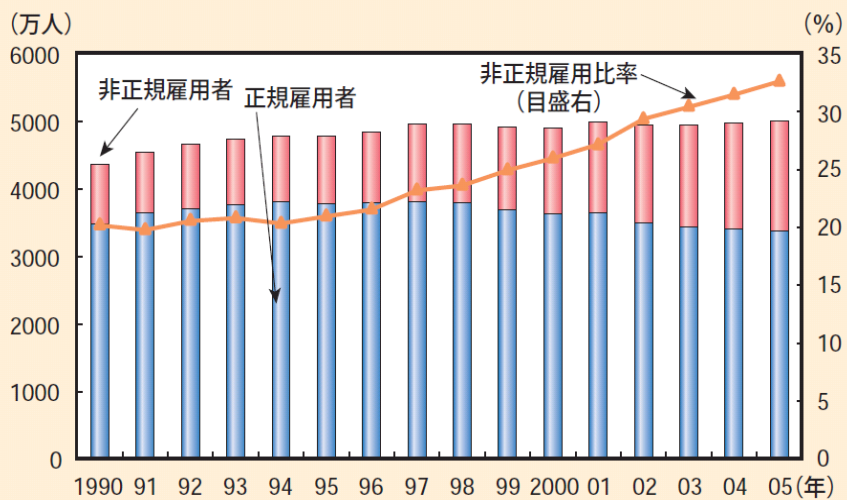


(出所)内閣府『構造改革評価報告書－企業・雇用への改革効果の検証と「次の一手」

19

非正規雇用の増加

雇用者数の約3人に一人が非正規雇用者

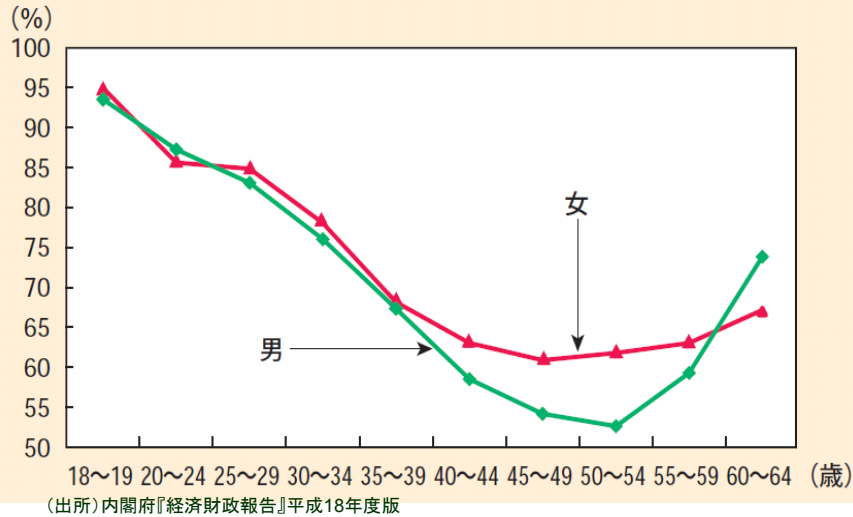


(出所)内閣府『経済財政報告』平成18年度版

20

正規雇用と非正規雇用の賃金格差

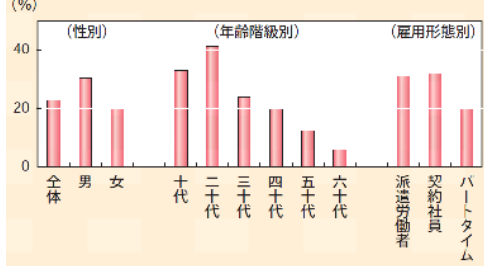
50歳代まで年齢が上がるにつれて、賃金格差は拡大



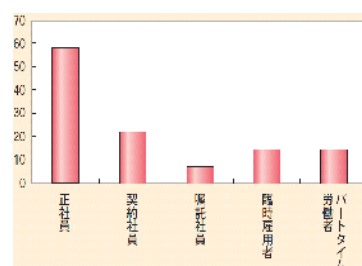
21

非正規雇用者の置かれている状況

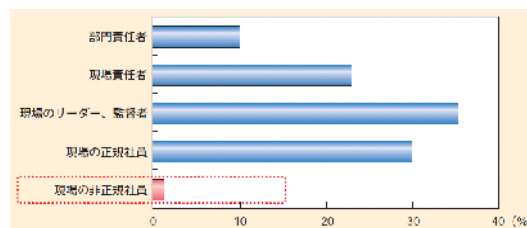
現在の雇用形態から変わりたいとする割合



昇級・昇格制度の有無の割合



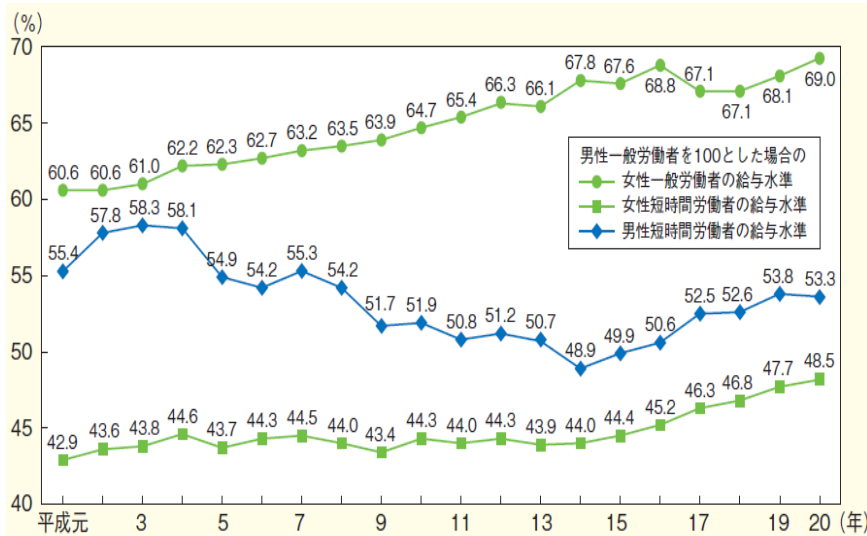
企業が人材育成で重視する層



(出所)内閣府『経済財政報告』平成18年度版

22

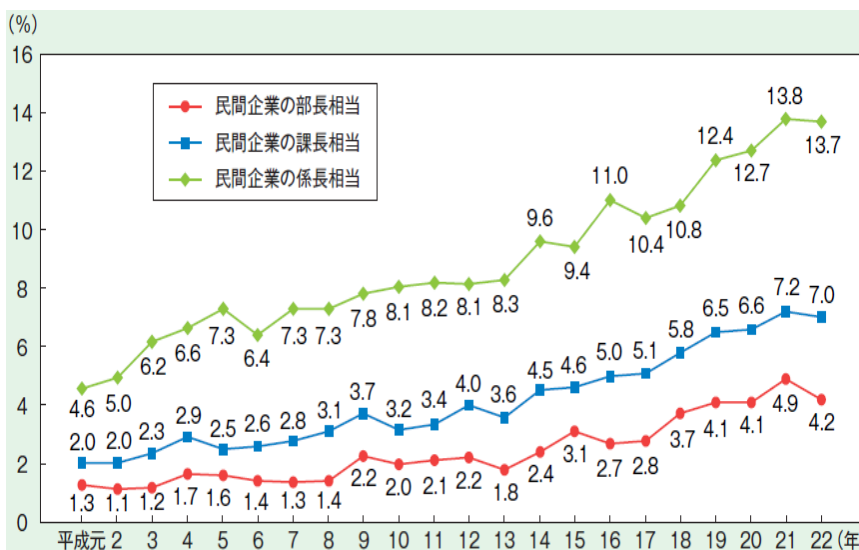
男女の給与格差



(出所)内閣府『男女共同参画白書』平成21年版

24

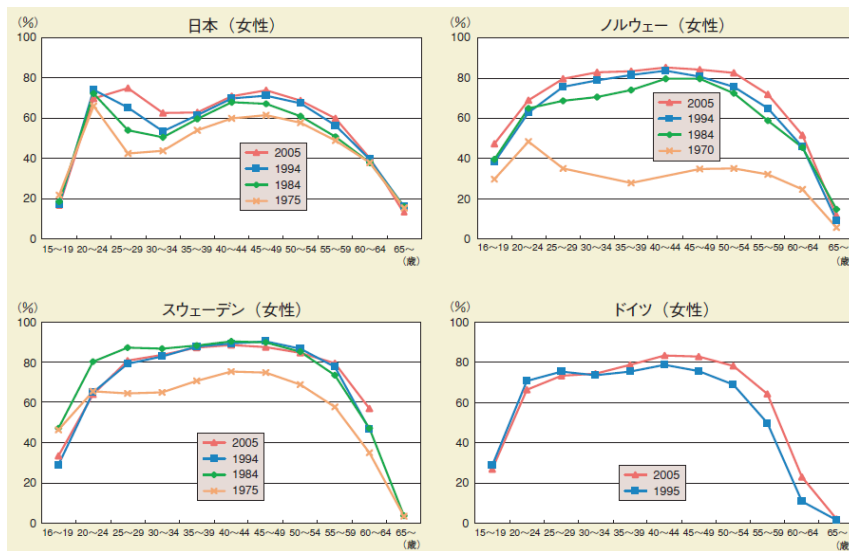
管理職に占める女性の割合



(出所)内閣府『男女共同参画白書』平成23年版

25

M字カーブ(女性の年齢別労働力率)



(出所)内閣府『男女共同参画白書』平成19年版

26

自主学习

- 若年失業者やニートの問題をどう捉えるか
 - 若年失業者等は本人の「甘え」が問題であり、政策的に支援する必要はないと考えるのか
 - 若年失業者等は、景気悪化の中で中高年よりも大きなしわ寄せを受けた「被害者」であり、支援すべきと考えるのか
- 若年失業者やニートを支援するとしたら、どのような政策が有効か
- 雇用維持政策か、雇用流動化政策か
 - 解雇等を制限し、雇用を維持する方向で政策を成すべきか
 - 労働力が余っている部門から不足している部門にスムーズに移動できるように、解雇等を容易にする代わりに次の仕事に就きやすくする方向で政策を成すべきか
- 雇用のミスマッチ解消に有効な政策は何か

27

自主学习

- 正規・非正規雇用の格差問題をどう考えるか
 - 非正規雇用の賃金等待遇を改善し、格差を是正すべきか
 - 非正規の賃金等の改善を義務付けると、企業は非正規社員を雇わなくなり、失業が増加してかえって問題は悪化すると見るのか
- いわゆる「派遣切り」についてどう考えるか
 - 製造業の派遣労働を禁止するなど、規制を強化すべきか
 - 短期の派遣労働者にも失業保険を給付すべきか。その場合、モラルハザード(失業給付を受けるために短期ですぐ辞める)をどう防ぐか
- 女性の労働力を活用するためには何が必要か

【参考書の主な該当箇所】

日本経済読本：第8章
ゼミナール日本経済入門：10章
ゼミナール経済政策入門：第8章－3

【読書案内】

玄田有史『仕事のなかの曖昧な不安』中公文庫

28